

講義科目名称： 看護学概論（H）

授業コード： 51206600

英文科目名称： Introduction to Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
古屋 肇子			
金4			
添付ファイル			

科目の概要	一般教養としての社会生活に役立つ看護について、「健康」「発達」「看護」「人権」「協働」をキーワードに一緒に考えていきます。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション — 健康とは何か、人は生涯発達していく（古屋） 講義の進め方の説明、健康とは何か、人が生まれてから一生を終えるまでについて考えます。</p> <p>第2回 看護って何ですか？ 人の健康をどのようにして探るか（古屋） お医者さんと看護師さんの違い、手と五感で人の健康を知るテクニックについて考えます。</p> <p>第3回 家族の看護に役立つ技術① 介護編（古屋） 自分や家族が病気になった時に役立つテクニックを学びます。</p> <p>第4回 家族の看護に役立つ技術② 子育て編（古屋） 子育てに役立つテクニックを学びます。</p> <p>第5回 対人関係に役立つコミュニケーション（古屋） 目の前の人とコミュニケーションする時に役立つ知識や技術を考えます。</p> <p>第6回 自分と周囲の人を護る「人権」と選択のサポート（古屋） 生きていく上で一番大切なこと「人権」について考えます。</p> <p>第7回 医療場面での多職種連携（横田） 多職種協働・連携について、その意味と役割について考えます。</p> <p>第8回 事例検討（横田） 事例を通してグループ学習を行い、役割と関わり方について考えます。</p>
学習到達目標	<p>①各回のテーマについて、説明を聞きながら演習を行い、発表をすることができる。</p> <p>②講義のテーマについて自ら考えることができる。</p> <p>③他者の意見を共有し、テーマの内容についてより関心を深めることができる。</p>
授業の方法	<p>【授業形態】 講義形式で行います。必要な資料を配布します。</p> <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】</p> <p>【ICTを利用した双方向授業】</p> <p>【その他特記事項】 振り返りシートで、毎回の授業への意見、感想等を提出してもらいます。</p>
成績評価の方法	<p>【評価項目と割合】 授業でのシート提出（50%）、レポート課題（50%） ※授業の欠席は2回までです。3回以上出席すると単位の認定はできません。 ※選択科目なので、この科目に興味がある人のみの受講を希望します。</p>
教科書・テキスト	ありません。
参考書	<p>①深井喜代子：一般教養としての「看護学概論」、日本看護協会出版会、2020.</p> <p>②ナーシング・グラフィカ 基礎看護学①看護学概論、メディカ出版、2018.</p> <p>③東口高志：NST完全ガイド改訂版、照林社、2012.</p>
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<p>事前：テーマについて情報を探索し、興味のある記事を読むようにしてください。</p> <p>事後：授業で行った内容を基に最終レポートを書いてもらいますので、各回の内容の要点を復習してください。</p>
履修上の留意事項	<p>①授業の遅刻・早退・欠席の扱いは、学生便覧の通りです。</p> <p>②授業中の私語やその他迷惑行為は行わないこと。</p>
オフィスアワー	質問は授業終了後に受け付けます。
課題に対するフィードバックの方法	次の授業の最初にフィードバックを行い、意見の共有を図ります。
担当教員への連絡方法	<p>横田：k-yokota*@osaka-aoyama.ac.jp</p> <p>古屋：h-furuya*@osaka-aoyama.ac.jp</p> <p>※*を除いてアドレスを入力してください。</p>
実務経験	看護師
その他	日常生活で使える看護について、考えていきましょう。